

# 竹と花、商店街飾る

## 市民に披露 11、18日も展示

舞鶴高専アザコン部

の学生たちが、竹を活用して商店街を花で飾ろうと、製作した「はなたけ」を夜の市の4日、浜の商店街ラポで市民に披露した。

商店街を訪れる人を

増やそうと、地元自治会が町に花を飾る花いっぱい運動に注目し、増え続ける放置竹林の竹を活用したラポターで、空き店舗の

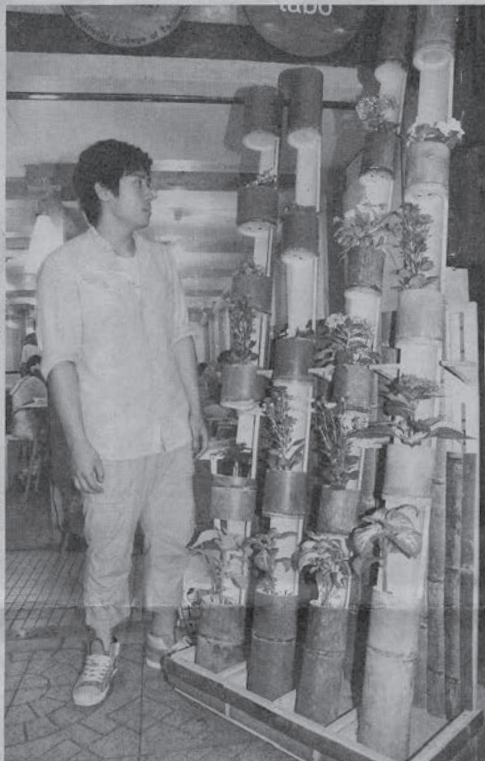
シャッター前に花を置くことにした。アイデアをまとめ、昨年11月の全国高専デザインコンペティションで発表した。

地元NPOや自治会

から竹や花の提供を受け、学生たちは高さ2坪の竹製の筒状ラポターに土と花を入れた。建築システム工学の尾上亮介教授が八

島商店街に置く研究拠点「商店街ラポ」前に展示した。同部の上中匠部長（20）は「一緒に作る作業を通して商店街に人が集まっても

らえれば」と話す。11、18日の夜の市でも展示し、9月にワークショップを開き、市民とはなたけ作りをする。



花を入れた竹プランターと上中部長